

## ベトナムの医療事情

### (4) ハノイの医療機関について

ロータスクリニック ハノイ・ホーチミン  
院長 白井拓史

今回は、ハノイの医療機関と歯科や薬局事情についてもお話ししたいと思います。ハノイの医療機関もホーチミン同様に国公立の病院、外資系や新しいベトナム資本の総合病院、外資系・日系クリニックなどに大別されます。

#### 【国立総合病院】

バクマイ病院は 1911 年にフランス政府によって建設された歴史ある病院であり、ベトナム北部拠点病院です。ベトナム戦争で甚大な被害を受けましたが、フランスや日本などからの支援が入り再建されました。日本はバクマイ病院における新病棟建設 ODA とそれに関連した技術支援などを行ってきました。ベッド数は 1400 床で、26 の診療科があります。CT や MRI などの医療機器を揃え、ICU なども完備されています。しかしながら、ベトナムの他の国公立病院同様に院内の環境は、衛生面なども含めて、まだまだ外国人には厳しい状況です。



<バクマイ病院 外観>



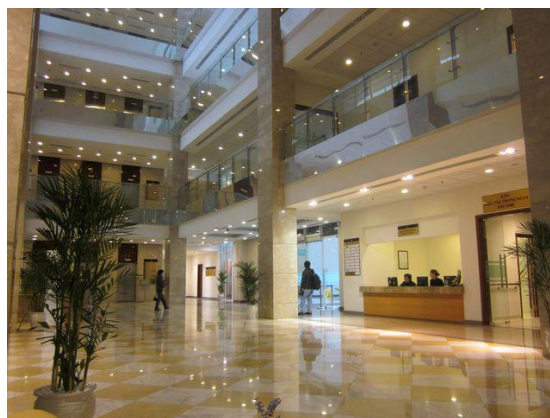
<日本の援助についての表示>

**【外資系・ベトナム系総合病院】**

ビンメック国際総合病院は、2012年にオープンした外国人やベトナム人富裕層をターゲットとしたベトナム資本の私立総合病院です。ハノイ中心部から車で約15～20分くらいです。入院施設500床規模で、ICUや手術室、分娩室などを備えています。CTやMRI、内視鏡などの最新の医療設備があります。内科や外科、小児科、整形外科、脳神経外科、腫瘍科、産婦人科、皮膚科など概ね全科の診療を行っています。予防接種や健康診断もやっています。救急外来は24時間体制で、救急車の依頼も可能（有料）です。海外旅行保険のキャッシュレスにも一部対応しています。



＜ビンメック病院 外観＞



＜受付ホール＞



＜ビンメック病院 診察室＞

フレンチ病院は、ハノイ初の国際病院として1997年に設立された総合病院です。入院施設は56床で、手術室、ICUなどを備え、CTや内視鏡、超音波検査などが可能です。診療科としては、総合診療科、内科、外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科、精神科、麻酔科、歯科などがあります。救急外来は24時間体制で救急車の依頼も可能です。



＜フレンチ病院 外観＞

### 【外資系クリニック】

ハノイの外資系クリニックもホーチミン同様に、ベトナム人医師・外国人医師と共に日本人医師や日本人看護師、日本人コーディネーターがいて対応しています。

日本人医師のいる外資系クリニックとして、ファミリーメディカルプラクティス、ラッフルズクリニックがあります。どちらのクリニックも、日本語通訳がいて日本人以外の専門医に診察して貰うときには通訳をつけて受診することが可能です。日本人医師が休みの時にはベトナム人医師または外国人医師が対応することになります。海外旅行保険のキャッシュレスサービスに対応しています。



＜ラッフルズクリニック＞

### 【日系クリニック】

ロータスクリニック・ハノイは、2016年より診療を行っています。ホーチミン同様に日本人医師、日本人看護師、日本人マネージャーが常駐しており、受付から診察、検査、会計まですべて日本語で対応しています。ハノイクリニックは、ホーチミンクリニックよりも広くゆったりした作りになっています。日本で近くの医院を受診するのと同じ感覚で診察を受けることができるように配慮し、また外来の病気の方と予防接種や健康診断の方の待合室を分けるなどの工夫をしています。お子さんのためのキッズルームや授乳室を完備しています。



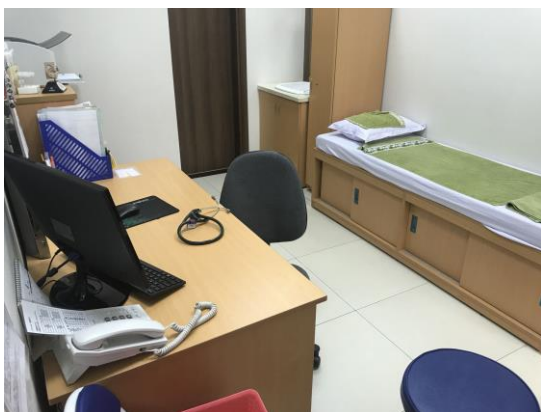
＜受付：全て日本語で対応＞



＜キッズルーム＞



検査は、ホーチミンと同様に心電図、X線、聴力、肺機能、超音波、内視鏡検査などが可能です。院内にラボがあり、血液（血算や生化学）、尿検査なども行っています。日系海外旅行保険をお持ちの方は、キャッシュレスサービスで受診することができます。健康保険の日本での還付の書類の作成も行っています。クレジットカードの付帯保険でキャッシュレスサービスも可能ですが、受診前にご自身でカード会社に連絡を取って頂く必要があります。



<診察室>



<X線検査室：胃バリウム検査も行う>



<心電図、超音波検査室>



<検査室：血液検査や尿検査などを行う>

### 【搬送】

日本人医師や日本人看護師の常駐するクリニックも増え、以前と比べ在留邦人や旅行者が医療機関を受診しやすい環境になってきています。しかし、重症疾患ではバンコクやシンガポールに搬送が必要になるケースもまだまだあります。特にバンコクはベトナムからアクセスが近く、高機能の総合病院が複数あり、重症で搬送が必要なケース、手術が必要なケース、特殊な検査や専門医の診療が必要なケースの多くで利用されています。今後はベトナムでもより高度な医療が提供できる環境の整備が望まれています。

### 【歯科事情】

ハノイもホーチミンも日系のデンタルクリニックが数カ所ずつあり、日本人歯科医が診療を行っています。日本語で診察を行い治療もして貰えるので安心です。ただし、特約などで歯科治療が付いている場合以外は、通常海外旅行保険でカバーされません。また、健康保険で日本で還付も受けられますが、保険対象外の材料などで治療された場合にはやはりカバーされないことがありますので注意が必要です。赴任前に日本で一通り治療されてくることをお勧めします。インプラントは日本よりも安価に出来るため、ベトナムでインプラント治療を受ける在留邦人の方もいらっしゃいます。

### 【薬局】

街中の薬局で簡単に薬を購入することが出来ます。薬は1箱単位ではなく、必要な分だけ少量買うことも可能です。症状を伝えると必要な薬を1回分ずつ袋に小分けにして売ってくれますので、非常に便利で経済的と言えます。日本では処方箋がないと購入できない薬も買うことが出来ます。しかし、日本にもある薬でも分量が日本に比べて多いものなどもあり、注意が必要です。また、小分けにしてくれるため薬の包装がなくなってしまう、後から何の薬なのか分からなくなってしまう。気軽に使えて便利な薬局ですが、症状が良くならない場合や買った薬に不安を感じた場合は、必ず医療機関を受診して下さい。



＜街中の薬局＞



＜薬局で購入できる薬の例＞

4 回に渡ってベトナムの生活環境や医療事情についてお話しさせていただきました。以前に比べればベトナムの医療環境はかなり改善していて、単身赴任ではなくご家族帯同で赴任される家庭が多くなりました。ロータスクリニックにも駐在員のご家族、お子さんがたくさん受診して頂いております。みなさんがベトナムに赴任したり駐在する上で少しでもご参考になり、安全で健康に過ごす一助になりましたら幸いです。